実践記録

「志津里山自然学校」プログラム⑥
「マイツリーを植えてみよう・閉校式」

実施日	活動場所	参加者	講師	スタッフ
2023.3.19 10:00～15:00	馬場町奥村但馬守館跡周辺の山林　馬場町会館（新館）	17名	井阪尚司先生	10名　（まち協2名　まちセン3名　市2名　フォレストクラブ3名）

◆8:30～　添木の見本作成（山元様、奥村平一様）

挨拶・活動説明　10:00～10:10

司会・進行・・水野

①「志津里山自然学校」山元校長の挨拶

②スケジュールの説明（小高峯様）

⇟活動場所へ移動　10:10～

マイツリーの植樹　10:15～11:20

進行・説明　山元様

①活動説明と植樹場所確認

②植樹と添木の設置

チームづくり→植樹場所の穴掘り→苗木の植樹→添木の組立・設置

今回は、ソメイヨシノ（5本）、モミジ（3本）を植樹する。

③プレート作成・取付　11:10～

植樹者の名前と願い、日付を記入する。　※前日が雨のため水やりを省く

参加者の手でマイツリーを植えることがとても心に残る体験となった。特に他の親子と協力しながら穴を掘ったり添木を組み立てたりしたことが楽しかったようである。



苗木を植える穴掘りです



かけやで添木を打ち込みました

椎茸収穫と種菌の植菌　11:20～12:00

講　明　奥村平一先生　山元先生

①椎茸の収穫

奥村平一様栽培の椎茸を一人2本採集する。

②椎茸種菌の植菌

奥村邸裏庭において植菌体験をする。

初めて体験することばかりで、親子で貴重な体験ができたと好評であった。



大きな椎茸をゲットしたよ



種菌を打ち込んで育てるんだ

昼食　12:00～12:45

当初は馬場町会館でとる予定であったが、天候もよく最後のプログラムでもあったので奥村邸裏庭で食べる。里山の自然を満喫しながら和やかに食事する姿が見られた。

⇟馬場町会館へ移動　12:45～

1年間の取組発表　13:00～13:50

進　行　福永

①発表準備（井阪先生の指導）

3グループに分かれ、こども環境会議用展示物を活用しながら各プログラムで取り組だことや発見したこと、感想、皆に伝えたいことなどを相談する。

②各グループの発表

森の小道づくり・収穫祭チーム　➡ホタルチーム　➡伐採・薪わりチーム

③井阪先生のコメント

井阪先生の指導　13:50～14:20

講　師　井阪尚司先生

井阪先生より、生物多様性のまとめの話を聞く。

生物多様性の学び①「生物多様性の基本的なこと」

生物多様性の学び②「生物多様性の重要性」

生物多様性の学び③「生物多様性と人間生活との関わり」

振返り　14:20～14:30

今日一日の活動を振り返り、アンケート用紙に記入する。（以下感想例）

質問1　一番楽しかったこと・心に残ったことは？

「みんなで穴を掘ってマイツリーを植えることはなかなかないことなので楽しかった。」

「椎茸の収穫と菌うちが楽しかったです。」

「桜やモミジの木を子どもたちと植えたこと。」

質問2　新しい発見・初めて知ったことは？

「しいたけの菌を初めて見ました。」

「椎茸の菌つけは貴重な体験で、原木に打ち込むのは知りませんでした。」

「椎茸の菌を植えてから2～3年たたないと椎茸はできないこと。」

質問3　その他、思ったことなどは？

「さくらの花が早くさいてほしい。」

「里山で育てて椎茸のキノコや木の実を食べてみたい。」

「葉っぱはほかの虫に食べられそうになったら、ほかの木に話しかけることがすごい。」

「この活動がもっといろいろな形で広まればいいなと思いました。」

■本実践の評価は別紙参照

別紙　「志津里山自然学校」プログラム⑥「マイツリーを植えてみよう・閉校式」の評価

閉校式　14:30～15:00

進　行　水野

①1年間の活動を振り返る

各プログラムの活動の様子を PP で提示しながら振り返る。

②「志津里山自然学校」山元校長のあいさつ

次年度の参加者募集についても説明（次年度参加者募集チラシの配布）

あいさつの後、修了証、皆勤賞を授与する。（皆勤賞授与者3名）



どんなことを紹介しようかな・・



伐採がなぜ必要かというと・・



ホタルと友だちになれたよ・



生物多様性のまとめの話です



一年間よくがんばりました！